

人権 16mm

教材番号	分野	タイトル	時間	内容の概要
A06-0001	人権	明日の太陽	45	差別意識がどのような人間観、社会観をもった人々の心に芽生えるものなのか。地域社会・家庭・学校それぞれの場において人間のあるべき姿を、同和教育の観点から描いた作品。
A06-0002	人権	人間みな兄弟	60	いわれのない理由による差別、その中に生きる人々ほどの様な差別を受け苦しい生活を味わっているか、その実態を描き社会に警告する作品。
A06-0003	人権	偏見	33	誤った先入観から、誰でもが抱きがちならしの中の小さな偏見が、一人の少年の善良な魂を大きく傷つけるという物語。
A06-0004	人権	差別	32	一人の少女がうけてきた差別の問題を描いて、大きな社会問題の根底をなしている差別の問題を考える。
A06-0005	人権	婦人と差別	30	差別に負けない、差別を許さない女性の生活態度や学習活動をととりあげ、同和地区の人々の基本的な人権が保障されることが、国全体の基本的な人権の保障につながることを考える。
A06-0006	人権	差別と人権の歴史	35	部落形成の歴史と、解放運動の過程について史料をもとにして描き、解放運動についての認識を深めるとともに、近世以降我が国における基本的な人権確立の歴史を学ぶ。
A06-0007	人権	夜明けをめざして 差別とたたかう子どもたち	37	本来、ともに学び、学ぶことを指向している子どもたち。彼らを分断し、対立を生ませ、ゆがませていく差別。この映画は、ある被差別部落内外の子どもたちによる学習仲間の変革の姿を見つめながら、差別からの解放の問題を描き出す。
A06-0008	人権	炎をうけつぐ子どもたち	43	部落差別は被差別部落の人達の家庭を破壊し、母胎を犠牲にしてまでも働く事を強いてきた。そういう不当な現実を燃やして、部落解放運動を闘って来た母の姿にゆり動かされて立ち上がる被差別部落の少女ひろみ。
A06-0009	人権	ゆがんだ視線	30	世の中には先入観や偏見にとらわれてものを正しく見る目を失い、大きな誤りを犯す事がある。そういう事例を通して、客観的な論理的根拠によらずに他人を誤って判断したり差別したりすることの罪深さを反省する。
A06-0010	人権	夜明けの旗	90	この映画は部落解放運動の優れた指導者であり、そして偉大な人間だった松本治一郎の権力に屈せず闘い抜いた感動の半生を描いたものである。
A06-0011	人権	触れ書き一揆	54	「私たちはいかに深く重い闇にとざされていようと、その暗闇をきり裂く、光を求めつづけて闘うであろう。」安政年間、中国地方である藩で、御触れ書きの撤廃運動をおこした部落の人々があつた。
A06-0012	人権	私たちの中のもう一つの顔	31	我が子の勉強の妨げになるものはすべて憎悪の対象になるある母親を中心に、日常生活の中に現れる偏見や差別が、どのように生まれるかを描いた作品。そうした偏見に自ら気づき、問い直していくための教材。
A06-0013	人権	まごころ	50	同和地区に住み、中学校に通う少女が差別の冷たさにつきあたり、やり場のない怒りと悲しみを抱く。しかし、母親や祖父、先生の深い愛情や励ましによって堂々と生きることの大切さを感じとっていく姿を描く。
A06-0014	人権	結婚	55	愛とはお互いの人間としての権利を認め合い、認めてもらうことから始まる。この作品は、あらゆる偏見や迫害を正視し、しかもたじろがぬ愛で結ばれた男女を通じて結婚問題をとらえている。
A06-0015	人権	赤まんまの歌	30	封建社会の厳しい仕組みの中で、子どもに米を食べさせてやりたいと蔵の中に落ちている米つづを拾って、ひとにぎりの赤まんまを食べさせた父親。しかし、それが役人にわかり人柱として処刑される。
A06-0016	人権	心そのきづな	49	差別を克服して結婚した夫婦が子育てをめぐる差別の問題がまだ終わっていないことを痛感する。それを乗り越えるには、ともに心を合わせて生きる地域社会づくりに参画していくことが大切であることを訴える。
A06-0017	人権	大地の夜明け	106	同和地区に生まれた一青年を中心に結婚差別の厳しさを描き差別とは何かを考える。
A06-0018	人権	星がきれに見える街	54	子どもたちの間には差別はない。あるのは友情だけだ。それを壊しているのは大人ではないか。少年野球チームを舞台に、ねたみ、差別や部落への偏見を乗り越え、子どもたちの夢を実現しようとする青年の姿を描き、明るい町づくりの大切さを訴え

A06-0019	人権	ひろがれのじぎくの輪	50	差別してはいけないうわかっていながらも何となく違うという心情を捨てきれない。同和地区内外の住民の生活交流を積極的に進めることによって、心理的な差別の解消への展望を見い出そうとする。
A06-0020	人権	若ものたちの朝	54	スポーツか、進学のための勉強か？一人の高校生の悩みを中心に、その家族の今まで隠されてきた内なる差別意識。私たちの同和問題に対するホンネとタテマエを描きだす。
A06-0021	人権	青春の詩	46	母ひとり子ひとりの貧しい生活の中でも母の愛に恵まれてスポーツ好きの好青年に育った進と、弟のように可愛がっている宏が、同和地区の出身ということで揶揄され喧嘩になってしまった…。
A06-0022	人権	あしたに向かって	53	勝は、就職の機会均等が阻害されるなど、部落差別の現実が心を重くしている。同級生からの心ない言葉に傷つき怒りに震える勝。
A06-0023	人権	新たなる出発	55	対象地域の隣接地に越して来た北山一家と地区の人々との交流を通して都市化・混住化が進む中で見えにくくなっている差別の実態を明らかにし、先輩の励ましや恋人の愛情によって長女の恋人が心を開いてゆく姿を描く。
A06-0025	人権	青空へキック	54	子どもがどのようにして差別意識を植えつけられていくのかを示すとともに、学校・家庭・地域の協力がいかに大切であるかを描く。
A06-0026	人権	よみがえれ爽やかな人々	54	部落差別を乗り越え結婚したが、現在も続く差別の厳しさと子どもの将来に対する不安から二人の苦悩が始まる。社会に潜む偏見が、家族の心の中の差別意識をあらわにさせ増幅させ、やがては家庭をも崩壊させていく…。
A06-0027	人権	雨の指文字	55	部落差別のために学校へ通うこともできず成人した今、ようやく文字を学び深めようとする人々がいる。そうした人々の苦しみ悩む姿を描く。
A06-0028	人権	人間の誇り	42	部落差別の起源、今日とのかかわりを扱った歴史教材。近代（明治～敗戦）における差別への抵抗の歴史を語りながら差別のない自由な民主社会へと訴える。
A06-0029	人権	にんげんの詩	26	友達のアキオが部落と関係があるらしいと両親から交際を止められたミツコが、江戸期・明治期とタイムスリップし、部落差別の根源を探る。
A06-0031	人権	みんなで考える部落の歴史 第1部つくられた身分制度	21	福岡県における被差別部落の形成は、各藩で経過や内容に違いがあり、この例をとってどのように身分制度が確立されてきたかを考える。
A06-0032	人権	みんなで考える部落の歴史 第2部部落差別の強化	29	身分制度や差別政策を強化したのは、支配者の政治や経済の力が揺るぎはじめたからで、課税の強化に対する農民の抵抗や、被差別部落の人々を利用していったようすを描いている。
A06-0033	人権	みんなで考える部落の歴史第3部部落差別をなくすあゆみ	27	民衆の「解放令」への願い、明治中期以降の石炭産業と被差別部落の関係や解放運動を取り上げる。さらに戦後の解放運動、同和对策事業を描き、同和問題の正しい理解を図る。
A06-0034	人権	人間を生きる	43	部落差別の起源、部落差別に対する抵抗を扱った歴史教材「人間をとりもどす」（近世）、「人間の誇り」（近代）の続編。敗戦から特別措置法施行までの時期を扱う。
A06-0035	人権	こごりの味	54	同和地区の識字学級に通っている三人の女性と高校生たちとの交流を通して、今日の人権問題を考える。
A06-0036	人権	きずな にんげんの詩パート2	30	部落差別の典型的な例である結婚差別を取り上げ、部落差別がいかに不当なものであるか、また、どうしたらこの問題を解決することができるかを考える。「にんげんの詩」の続編。主人公ミツコの結婚後を描く。
A06-0037	人権	不意の旅人	55	古い城下町を舞台に、三十余年間音信不通だった叔父が、姪の家族と同和地区の母子家庭の一家に、様々な波紋を投げかける。彼らがくり広げる人間ドラマの中から、次第に「見えない差別」の実像が浮かび上がる。
A06-0038	人権	星の降る日	55	差別という壁にぶつかり、とまどい悩む二人、そして家族と仲間たち。人を愛する気持を通して、生きていく上で本当に大切なものは何かを考える。
A06-0039	人権	みんなのもり	16	森の動物たちが、周囲を困らせる狼にたいして心を合わせてこらしめるお話し。

A06-0040	人権	未来からのメッセージ	25	適正や能力に関係なく偏見を持って採否を決していく就職差別をSFアニメで描く。
A06-0041	人権	風かよう道	35	古い因習にとらわれているある家族を通して、六曜、占い、穢れなどが差別意識を形成する土壌となっていることを提起しながら、今日的な問題であるコンピュータを悪用した差別事件も絡めて展開していきます。
A06-0042	人権	おむつの旗		
A06-0043	人権	同和特番 夕焼けの道		
A06-0047	人権	鶴の嘴の青春		
A07-0002	人権	日本列島と朝鮮半島	31	日本は古代から文化・政治・技術等の発展に朝鮮半島の強い影響を受けてきた。秀吉の侵略、明治以降の植民地化という不幸な出来事はあったが、友好の歴史は長い。その歴史を顧みる。